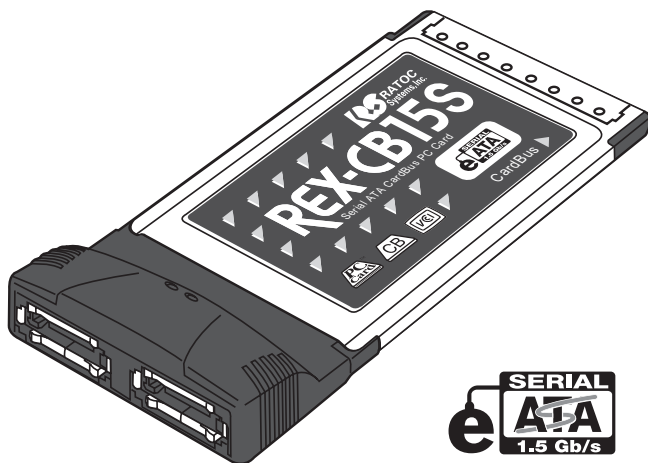


eSATA CardBus PC Card
REX-CB15S

ユーザーズマニュアル

2008年7月 第4.0版



本製品を正しく安全にお使いいただくため
ご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社
RATOC Systems, Inc.

〈ご注意〉

1. 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
2. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
3. 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
4. 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
5. 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。

- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名/社名などは、各社の商標または登録商標です。なお本書では、™、® マークは明記しておりません。

目次

●	安全にご使用いただくために	2
1	はじめに	3
	-1. 動作環境	3
	-2. 内容物の確認	3
	-3. 各部の名称	3
	-4. 本製品が使えるようになるまでの手順	4
	-5. 使用上の注意	4
2	セットアップ	5
	-1. インターネットに接続しているの場合	5
	-2. インターネットに接続していないの場合	7
	-3. セットアップの確認	8
	-4. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール	10
3	ホットプラグールの使い方	11
	-1. ホットプラグツールを使用する方法	11
	-2. ホットプラグツールの設定画面について	13
	-3. ホットプラグツールの終了について	14
4	ホットプラグツールの削除	15
5	カードの取り外し・ドライバの削除	16
	-1. PCカードの取り外し	16
	-2. ドライバの削除	17
6	お問い合わせ	18
	-1. 本製品に関するお問い合わせ	18
	-2. プロダクトキーについて	18
	-3. 修理について	19
7	オプション品のご案内	20
8	一般仕様	20
●	REX-CB15S 質問用紙	

安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

警告

- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。

注意

- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。
- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。

【電波障害自主規制について】

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

1 はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。未永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

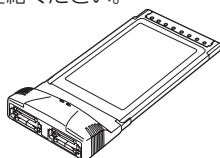
本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

1-1. 動作環境

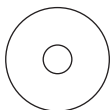
- ◆ 対応OS : Windows Vista/XP/2000 ※Windows Vista/XPは64ビット版に対応
- ◆ 対応機種 : CardBusスロットを装備したWindows PC
- ◆ 対応デバイス : eSATAに準拠したデバイスに対応
・外付けリムーバブルケース(SA-DK1シリーズ、SA-IFKESなど)
※ポータブルマルチプライヤには対応していません。

1-2. 内容物の確認

パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。
万一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



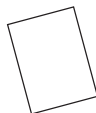
● PCカード



● ソフトウェア
CD-ROM

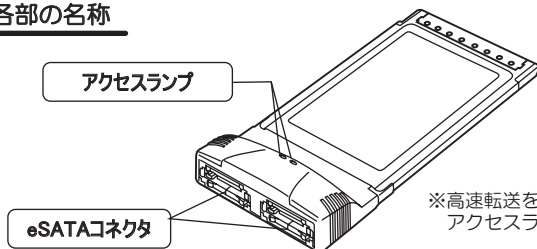


● ユーザーズマニュアル
(本書)



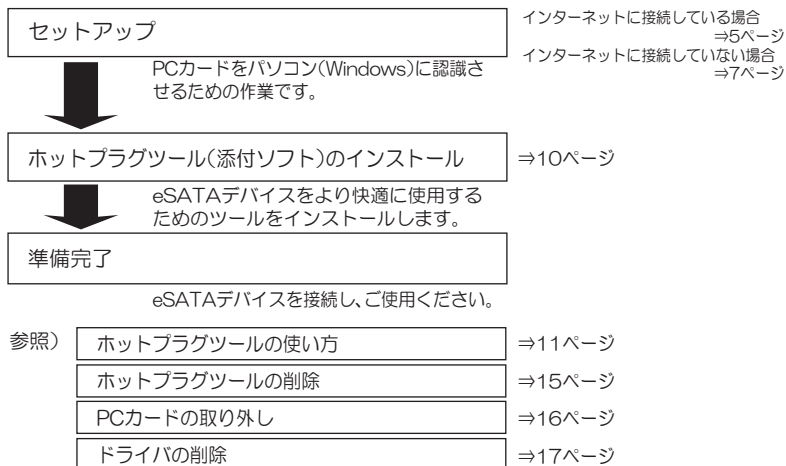
● 保証書

1-3. 各部の名称



※高速転送をおこなっている場合は、
アクセスランプが暗くなります。

7 -4. 本製品が使えるようになるまでの手順



7 -5. 使用上の注意

- eSATAコネクタとSATAコネクタは、形状が異なります。ご使用のデバイスやケーブルのコネクタ形状を確認の上、接続してください。
- システム起動には対応していません。
接続したハードディスクからのシステム起動はできません。
- スタンバイ、休止後に、eSATAデバイスを接続しても、認識しない場合があります。
- PCカードスロットの形状により上側スロットに装着できない場合や他のPCカードと同時に装着できない場合があります。
- 3Gbps対応デバイスを接続した場合は、1.5Gbpsでの転送となります。
- eSATAケーブルは最大100cmで接続してください。
- eSATAデバイスへの電源供給はできません。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 製品改良のため、将来予告なく外観または仕様の一部を変更する場合があります。
- 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守及びサポートは行っておりません。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- 本製品の保証や修理に関しましては、添付の保証書に内容を明記しております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。

2

セットアップ

2-1. インターネットに接続している場合

⇒インターネットに接続していない場合は
7ページへ

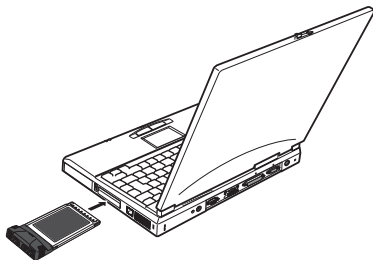
👉 ご注意

将来、Windows Updateを実行してSiI3512ドライバを更新した際には、再度CD-ROMから、フィルタドライバをインストールする必要があります。
(手順5.以降参照)

1. パソコンの電源を入れます。
2. PCカードをパソコンのCardBus スロットに挿入します。

⚠ 注意

銀色のフレーム部がスロットに完全に
見えなくなるまで、ゆっくりと確実に
奥まで挿入してください。



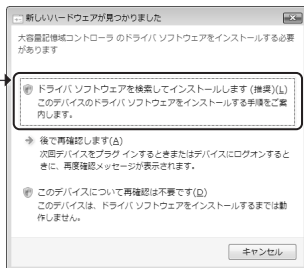
3. 新しいハードウェアとして認識され、次の画面が表示されます。
手順に従い、ドライバのインストールを完了してください。
⇒Windows 2000の場合は6ページへ

Windows Vistaの場合

- ① “ドライバソフトウェアを~インストール
します”をクリック

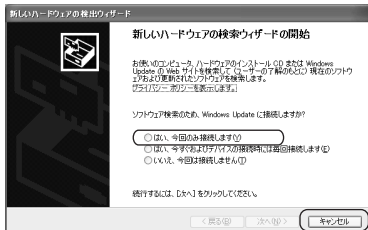


ユーザーアカウント制御の
メッセージが表示された場
合、【続行】をクリック。

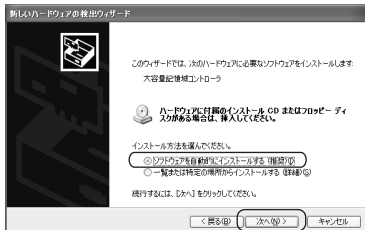


Windows XPの場合

- ① “はい、今回のみ接続します”を選択し、【次へ】をクリック

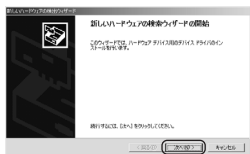


- ② “ソフトウェアを自動的にインストールする”を選択し、【次へ】をクリック

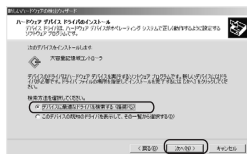


Windows 2000の場合

①【次へ】をクリック



②“デバイスに最適...”を選択し、【次へ】をクリック



③“Windows Update”を選択し、【次へ】をクリック



4. この画面になりましたら、ドライバのインストールは完了です。
Windows XP/2000の場合は、【完了】をクリックしてください。

Windows Vistaの場合



Windows XP/2000の場合



5. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。
CDドライブを開き、次の場所にあるセットアッププログラムを実行してください。

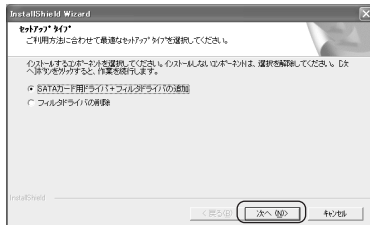
Windows Vistaの場合

【Vista】フォルダー→【SetupDriverCB15S.exe】をダブルクリック

Windows XP/2000の場合

【WinXP2K】フォルダー→【SetupDriver.exe】をダブルクリック

6. セットアッププログラムが起動します。
“SATAカード用ドライバ+フィルタドライバの追加”を選択し、【次へ】をクリックしてください。



7. ドライバのインストールは完了です。
設定を有効にするために、“はい、今すぐコンピュータを再起動します。”を選択し【完了】をクリックしてください。

8ページ 2-3. セットアップの確認へ進んでください。

2 -2. インターネットに接続していない場合

1. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。
CDドライブを開き、次の場所にあるセットアッププログラムを実行してください。

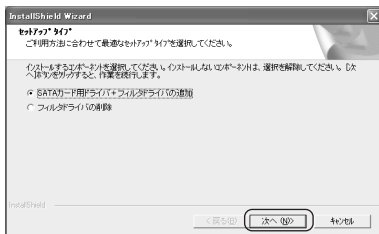
Windows Vistaの場合

【Vista】フォルダー→【SetupDriverCB15S.exe】をダブルクリック

Windows XP/2000の場合

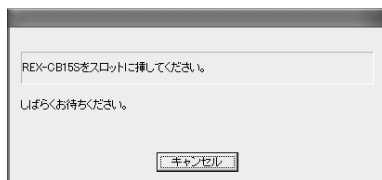
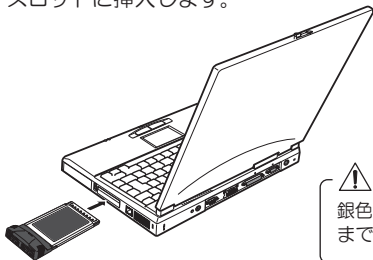
【WinXP2K】フォルダー→【SetupDriver.exe】をダブルクリック

2. セットアッププログラムが起動します。
“SATAカード用ドライバ+フィルタ
ドライバの追加”を選択し、【次へ】を
クリックしてください。



3. 次のメッセージが表示されます。

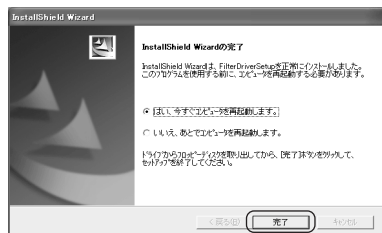
PCカードをパソコンのCardBus
スロットに挿入します。



注意

銀色のフレーム部分がスロットに完全に見えなくなるまで、ゆっくりと確実に奥まで挿入してください。

4. ドライバのインストールは完了です。
設定を有効にするために、“はい、今すぐ
コンピュータを再起動します。”を選択し
【完了】をクリックしてください。



8ページ **2-3**. セットアップの確認へ進んでください。

2-3. セットアップの確認

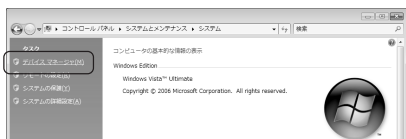
I. 【Windows Vistaの場合】

1. PCカードとドライバが、正常にセットアップされたことを確認します。
※以下、“デバイスマネージャ”の開き方(一例)を説明します。
【スタート】→【コンピュータ】を開いてください。

2. コマンドバーから【システムのプロパティ】をクリックしてください。



3. タスクから【デバイスマネージャ】をクリックしてください。



4. 次のメッセージが表示された場合は、【続行】をクリックしてください。



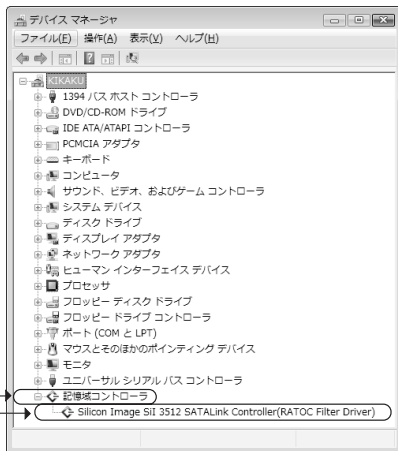
5. 【デバイスマネージャ】の画面から、【記憶域コントローラ】をダブルクリックして、【Silicon Image SiI3512 SATA Link Controller (RATOC Filter Driver)】が登録されている事を確認してください。

①【記憶域コントローラ】をダブルクリック。

②【Silicon Image SiI3512 SATA Link Controller (RATOC Filter Driver)】が表示されていれば、ドライバは正常にインストールされています。



表示されていない場合は、PCカードを確実に取り付けているか確認してください。それでも表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。17ページ ②-2. 「ドライバの削除」後に、再インストールをおこなってください。



6. 以上で、PCカードのセットアップは完了です。
10ページ ②-4. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストールへ進んでください。

II. 【Windows XP/2000の場合】

1. PCカードとドライバが、正常にセットアップされたことを確認します。
下記の手順で“システムのプロパティ”を開いてください。

Windows XPの場合

【スタート】→【コントロールパネル】(→【パフォーマンスとメンテナンス】)→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開いてください。

Windows 2000の場合

【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし“システムのプロパティ”を開いてください。

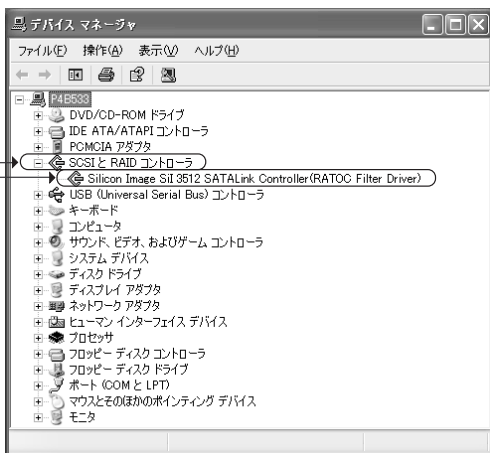
2. 【ハードウェア】タブをクリックし、【デバイスマネージャ】をクリックしてください。
3. 【デバイスマネージャ】の画面から、【SCSIとRAIDコントローラ】をダブルクリックして、【Silicon Image SiI3512 SATA Link Controller (RATOC Filter Driver)】が登録されている事を確認してください。

- ①【SCSIとRAIDコントローラ】をダブルクリック。

- ②【Silicon Image SiI3512 SATA Link Controller (RATOC Filter Driver)】が表示されていれば、ドライバは正常にインストールされています。



表示されていない場合は、PCカードを確実に取り付けているか確認してください。
それでも表示されていない場合は、ドライバが正常にインストールされていません。17ページ ②-2.「ドライバの削除」後に、再インストールをおこなってください。



4. 以上で、PCカードのセットアップは完了です。
10ページ ②-4. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストールへ進んでください。

2-4. ホットプラグツール(添付ソフト)のインストール

ホットプラグツールについて

このツールは、パソコンの電源を落とさずにハードディスクなどのeSATAデバイスの取り外し/交換を可能にするソフトウェアです。パソコン起動時にデバイスの取り外し、入れ換えを行う場合は、必ず本ソフトウェアをインストールしてください。

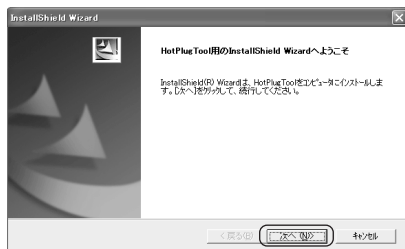
1. Administrator(管理者)権限でログインしてください。
2. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。

3. CDドライブを開き、【HotPlugTool】フォルダ内の【SetupHotPlugTool.exe】をダブルクリックしてください。



※拡張子(.exe)は、環境により表示されない場合があります。

4. インストール画面が表示されます。【次へ】をクリックしてください。



5. インストール場所を確認する画面が表示されます。【次へ】をクリックしてください。

※ 別フォルダを指定する場合は、【参照】をクリックしてインストールするフォルダを指定してください。



6. インストール完了です。【完了】をクリックしてください。

※ “HotPlugToolをすぐに実行します。”にチェックを入れると、ホットプラグツールはタスクトレイに常駐します。(取り外し可能なSATAデバイスが接続されていない場合は、アイコンは表示されません。)



3

ホットプラグツールの使い方

ホットプラグツール(添付ソフト)は、パソコンの電源を落とさずに、本製品のポートに接続したハードディスクなどのeSATAデバイスを、取り外し/交換(ホットプラグ機能)を可能にするソフトウェアです。

1. 【ホットプラグツールを使用する方法】:

ハードディスクの接続を例に説明します。

2. 【ホットプラグツールの設定画面について】:

ホットプラグツールの起動設定や機能のカスタマイズについて説明します。

3. 【ホットプラグツールの終了について】:

⚠ 警告

取り外し/交換作業を行う際は、必ず本章の作業手順に従ってください。
下記手順を行わず無理に取り外し/交換を行うと、ハードディスクの破損、
または、記録データを損失する場合があります。

3-1. ホットプラグツールを使用する方法

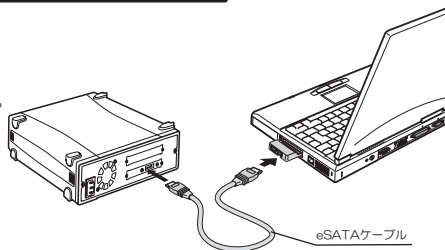
ハードディスクの接続を例に説明します。

1. 外付けハードディスクを接続します。

(図は外付けリムーバブルケース)

※ケーブル、リムーバブルケース、トレイは別売品です。本製品には添付していません。

7 オプション品のご案内を参照ください。



2. パソコンを起動し、SATAハードディスクを認識すると、デスクトップ右下のタスクトレイにアイコンが表示されます。

ハードディスクの取り外し/交換をおこなう場合、まずアイコン上で**クリック**してください。



👉 ご注意

- 【ホットプラグツール】は常駐ソフトです。
- ホットプラグツールの初期設定では、機器を接続していない場合、および取り外し可能なデバイスが接続されていない場合(ダイナミックディスクなど)、アイコンは表示されません。
- ホットプラグツールのインストールをおこなっていない場合、アイコンは表示されません。

3. アイコンをクリックすると、接続しているドライブ情報が表示されます。

ST325082 3AS SCSI Disk Device- ドライブ (E) を安全に取り外します。
WDC WD25 00KS-00MJBO SCSI Disk Device- ドライブ (F) を安全に取り外します。

18:10



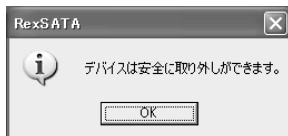
全てのWindowsでは、SATAデバイスを接続した時、“SCSI Disk Device”と表示されます。表示されるデバイスの名称は接続するデバイスにより異なります。

4. 取り外すドライブを選択し、クリックしてください。

ST325082 3AS SCSI Disk Device- ドライブ (E) を安全に取り外します。
WDC WD25 00KS-00MJBO SCSI Disk Device- ドライブ (F) を安全に取り外します。

18:44

5. “デバイスは安全に取り外しができます。”のメッセージが表示されたら取り外し可能です。【OK】をクリックしてください。



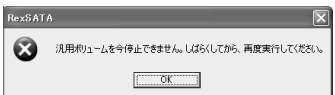
Vistaでのご注意

メッセージ表示時、必ずトレイのケーススイッチを解除してから、【OK】をクリックしてください。手順が異なるとドライブが再接続されます。



警告: 汎用ボリュームを今停止できません。と表示された場合

このメッセージが表示された場合は、デバイスの取り外しはできません。他のアプリケーション、システム等が該当ドライブを使用している可能性があります。しばらく時間が経ってから、もう一度 2. の手順からおこなってください。

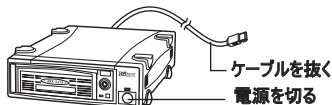


ウイルス対策ソフトウェアなど、ディスク監視を行うソフトウェアが該当ドライブを使用している場合は、ソフトウェアを終了してください。無理に取り外しを行うと、ハードディスクの破損、記録データの損失などが発生する場合があります。

6. ドライブを取り外します。

外付けハードディスクの取り外し

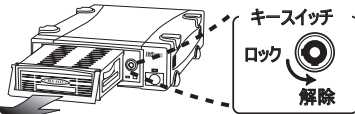
電源を切るか、eSATAケーブルを抜いてください。



取り付けたいときは、パソコン電源を入れたまま、eSATAケーブルを接続するか、外付けハードディスクの製品の電源を入れたら再びドライブが表示されます。

トレイの交換

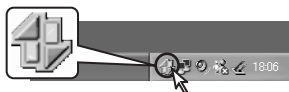
ケーススイッチのロックを解除して、トレイを取り外してください。



トレイの交換後ケーススイッチを“ロック”することにより、再びドライブが表示されます。

3-2. ホットプラグツールの設定画面について

タスクトレイのアイコンをダブルクリックすると、ダイアログボックスが表示されます。
ここでは、ディスクの取り外し/ホットプラグツールの起動に関する設定/機能のカスタマイズが可能です。



① ディスクの取り外し

現在接続しているSATAデバイスが表示されます。停止するデバイスを選択し【停止】をクリックすると、デバイスを取り外すことができます。

② システム起動時にホットプラグツールを起動する。

ホットプラグツールを常駐させない場合、このチェックBOXのチェックを外してください。次回起動時から、ホットプラグツールは自動的に起動(常駐)しません。

※1: 常駐させていない時の起動方法は、【スタート】→【すべてのプログラム(Windows 2000はプログラム)】→【Hot Plug Tool】内の【Hot Plug Tool】をクリックしてください。



※2: 常駐時に※1と同じ操作をしたときは“ハードウェアの安全な取り外し”ダイアログボックスが表示されます。

③ 再スキャン

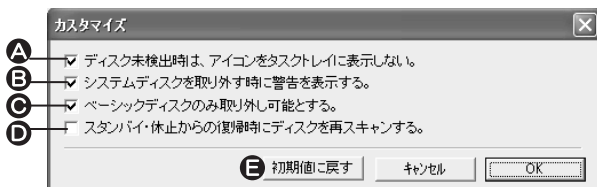
【再スキャン】をクリックするとデバイスの検索をします。ディスクが見つからない場合や、デバイス名がUnkown Deviceなどと表示される場合などに使用してください。

④ カスタマイズ

【カスタマイズ】をクリックするとダイアログボックスが表示されます。ここでホットプラグツールの機能をカスタマイズすることができます。

⇒次ページに説明つづく

前ページ(4 カスタマイズ)の説明つづき



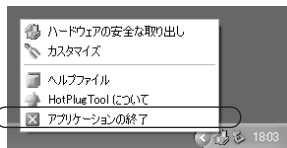
- A** ディスク未検出時は、アイコンをタスクトレイに表示しない。
※チェックを外すと、ホットプラグツール起動時は常にアイコンが表示されます。
- B** システムディスクを取り外す時に警告を表示する。(上級者向き)
※チェックを外すと、システムがインストールされている可能性があるディスクを外す場合でも、警告を表示しません。
- C** ベーシックディスクのみ取り外し可能とする。(上級者向き)
※チェックを外すと、ダイナミックディスクなども取り外し対象となります。
※ダイナミックディスクのドライブ文字は表示されません。
- D** スタンバイ・休止からの復帰時にディスクを再スキャンする。
※復帰時にディスクが見つからない場合にチェックしてください。
※正常なパソコンではチェックをONにしないでください。再スキャン処理にかかる余計なリソースを消費します。
- E** 「初期値に戻す」ボタン
※クリックするとチェックON/OFFを初期値に戻します。

ご注意

【B.C.について】システムディスク/ダイナミックディスクの取り外しはシステムエラーの発生リスクを伴います。ご注意ください。

3 -3. ホットプラグツールの終了について

タスクトレイのアイコンを右クリックすると、メニューが表示されますので、“アプリケーションの終了”を選択してください。



アイコン表示がないときは

ディスク未検出でアイコン表示がないときに、“アプリケーションの終了”をおこないたい場合は、まず、スタートメニューからHot Plug Toolを選択し、カスタマイズ(上記A参照)により、アイコンを表示させてください。

4 ホットプラグツールの削除

Windows Vistaの場合

※ホットプラグツールを削除する必要がある場合のみ、実行してください。

1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【プログラムのアンインストール】
(クラシック表示では【プログラムと機能】)を選択してください。
2. 【HotPlugTool】を選択し、【アンインストール】をクリックしてください。



3. 確認画面が表示されますので【はい】をクリックしてください。
4. ホットプラグツールの削除は完了です。
【完了】をクリックしてください。

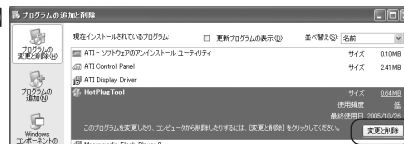


Windows XP/2000の場合

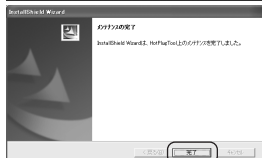
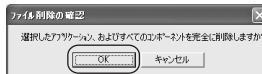
※例はWindows XPの画面です。Windows 2000では画面が若干異なります。

※ホットプラグツールを削除する必要がある場合のみ、実行してください。

1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【プログラムの追加と削除】
(Windows 2000は【アプリケーションの追加と削除】)を開いてください。
2. 【HotPlugTool】を選択し、【変更と削除】をクリックしてください。



3. 確認画面が表示されますので【OK】をクリックしてください。
4. ホットプラグツールの削除は完了です。
【完了】をクリックしてください。



5

PCカードの取り外し・ドライバの削除

5-1. PCカードの取り外し

※例はWindows XPの画面です。Windows Vista/2000では画面が若干異なります。

本製品はパソコンの電源を入れたまま、パソコンから取り外すことができます。

1. Windowsのタスクバーにある緑色の矢印のついたPCカードアイコンをクリックしてください。



2. 次のようなメッセージが表示されますので、このメッセージを選択してください。



3. 【安全に取り外すことができます】のメッセージが表示されますので、(Windows Vista/2000:【OK】をクリックして)本製品を取り外してください。



- 取り付けたいときは、パソコン電源を入れたままでもOKです。
- パソコン電源を切ってから取り外す場合、上記手順は必要ありません。

5 -2. ドライバの削除

インストールに失敗したときなど、REX-CB15Sドライバを削除する方法です。

●RATOCフィルタドライバの削除

1. 製品添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入してください。
2. CDドライブを開き、次の場所にあるセットアッププログラムを実行してください。

Windows Vistaの場合

【Vista】フォルダ→【SetupDriverCB15S.exe】をダブルクリック

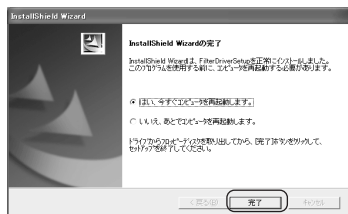
Windows XP/2000の場合

【WinXP2K】フォルダ→【SetupDriver.exe】をダブルクリック

3. “フィルタドライバの削除”を選択し、【次へ】をクリックしてください。



4. ドライバの削除は完了です。設定を有効にするために、“はい、今すぐコンピュータを再起動します。”を選択し【完了】をクリックしてください。



6

お問い合わせ

6-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号までお送りください。折り返し、電話またはFAX、メールにて回答いたします。なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェック等をおこなう関係上、回答までに時間を要する場合もございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル

TEL 大阪:06-6633-0190 東京:03-5207-6410

FAX:06-6633-3553 (FAXは24時間受付)

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00

土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く

ホームページで最新の情報をお届けしております。
またホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。

<http://www.ratocsystems.com/>

6-2. プロダクトキーについて

弊社では、プロダクトキーと呼ばれる16桁の認証コードを、1製品につき1個発行しています。プロダクトキーは、製品に添付されている保証書のシリアル番号欄に製品シリアル番号とともに印字されています。

(例) Product Key: NMft-DWQC-XtYg-Q8MA

このプロダクトキーは、正規ユーザであるかどうかの認証が必要な場合に認証キーとして使用されます。プロダクトキーによる認証を行う場合は、プロダクトキーのみでユーザ認証をおこない、ユーザ登録のような個人情報の登録が無くともダウンロードの実行が可能となります。

詳しくは、弊社Webサイト (<http://p-key1.ratocsystems.com/>) をご覧ください。



ご注文の際、プロダクトキーが必要なオプションもありますので、紛失しないように大切に保管してください。

6 -3. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しくおこなわれているかどうかご確認ください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。また修理に関してご不明な点がございましたら、弊社サポートセンターまでご相談ください。

- 〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL:06-6633-0190
- 〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本
・製品
・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）
- 〈送付方法〉 宅急便等、送付の控えが残る方法でお送りください。
弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.ratocsystems.com/services/repair/contents.html>

7

オプション品のご案内

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>

型番

品名

RCL-ESATA-10 eSATAケーブル 約100cm

その他、各種リムーバブルケースを取り揃えております。

< REX-SATA > シリーズ

SA-DK1ES eSATAリムーバブルケース 外付け1ベイ

SA-DK1EU eSATA&USB2.0リムーバブルケース 外付け1ベイ

SA-IFKESLG eSATA接続キット ライトグレートレイセット



SA-DK1ES (材質: ABS)



SA-IFKESLG (材質: ABS)

8

一般仕様

型番	REX-CB15S
名称	eSATA CardBus PCカード
対応OS	Windows Vista/XP/2000 ※Windows Vista/XPは64ビット版にも対応
対応機種	CardBusスロットを装備したWindows PC
バスインターフェイス	CardBus/32ビットバスマスタ (PC Card Standard 8.0準拠)
SATAコントローラ	SiI3512
接続コネクタ	eSATAコネクタ(外部)×2
データ転送速度	1.5Gbps (SATA理論値)
電源電圧	DC +3.3V (CardBusスロットより供給)
消費電流	【アクセス時】 3.3V Typ.270mA 【アイドル時】 3.3V Typ.180mA
動作環境	温度: 0~55℃、湿度: 20~80% (ただし結露しないこと)
外形寸法	約54mm(W)×115mm(L)×16mm(H) (PCカードスロット挿入部: Type II)
重量	約 41 g
製品内容	REX-CB15S CardBus PCカード、 ソフトウェアCD-ROM、ユーザーズマニュアル、保証書 (1年間)
添付ソフトウェア	ドライバソフトウェア、ホットプラグツール
保証期間	1年間

※eSATAコネクタとSATAコネクタは、形状が異なります。ご使用のデバイスやケーブルのコネクタ形状を確認の上、接続してください。

※システム起動には対応していません。接続したハードディスクからのシステム起動はできません。

※スタンバイ、休止後に、eSATAデバイスを接続しても、認識しない場合があります。

※PCカードスロットの形状により上側スロットに装着できない場合や他のPCカードと同時に装着できない場合があります。

※3Gbps対応デバイスを接続した場合は、1.5Gbpsでの転送となります。

※eSATAケーブルは最大100cmで接続してください。

※eSATAデバイスへの電源供給はできません。

※本製品は国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっていません。

※製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛

FAX: 06-6633-3553

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	REX-CB15S	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS	<input type="checkbox"/> Windows Vista <input type="checkbox"/> Windows XP <input type="checkbox"/> Windows 2000 ※該当の方はチェック ⇒ <input type="checkbox"/> 64ビット版を使用している			
接続機器	分類	<input type="checkbox"/> ハードディスク <input type="checkbox"/> その他()	型番	
	メーカー名			
質問内容				
添付資料	<input type="checkbox"/> Windows: デバイスマネージャのシステム概要※1 <input type="checkbox"/> その他()			

※1 デバイスマネージャのシステム概要の印刷方法

- (1) [スタート]メニューから[すべてのプログラム(Windows 2000: プログラム)]-[アクセサリ]-[システムツール]-[システム情報]を選択します。
- (2) Windows Vista/XP: [ファイル]-[エクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。
Windows 2000: [操作]-[一覧のエクスポート]を選択し、任意の名前のテキストファイルで保存します。
- (3) 保存したテキストファイルを開き、印刷します。

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
 弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>



©RATOC Systems, Inc. All rights reserved.
Printed in Japan